プリンセス

小公女セーラ

第21話

『涙の中の悲しみ』

AR台本

企画
制作
日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第二十一話『涙の中の悲しみ』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン……………中西妙子
アメリア……………梨羽由記子
ラヴィニア……………山田栄子
ジェシー……………飯塚はるみ
ガートルード……………佐々木るん
ロッティ……………渡辺菜生子

アーメンガード……………八百板万紀
ベッキー……………鈴木三枝
モーリー……………向殿あさみ
ジェームス……………郷里大輔
ピーター……………坂本千夏
男……………
主人……………

カメラ	画面		音声
1	ミンチン女学院　地下洗濯場 洗うセーラの手　ゴシゴシ洗う 右手上にFr outする		
2	セーラ顔を起こして、大きく息をはき、腕でひたいを拭く手を中途までおろし、下を見回すセーラ…疲れている顔である		セーラ　「フ――ッ」
3	→あちらこちらに洗濯物の山である　PAN→		
4	ごしごしと洗濯を再開するセーラ　ちらりと顔を上げて溜息をつくが又洗濯を始めるセーラ		S・E振鈴の音（カラン、カラン） セーラ　「フ――ッ」
5	山のような洗濯物を懸命に洗うセーラ		
6	廊下振鈴を鳴らすアメリア		

7	教室のドアが開き、教科書を抱えたミンチンが出て来る ミンチン、事務室の方へ out 続いてラヴィニア達が出て来て手前に来る		
8	ラヴィニア、ジェシー、ガートルード。後を二、三人の生徒が去っていく　ガートルード、ジェシーうれしそうに ラヴィニア手前へ out ふと気がついて　振り返り見る		ラヴィニア「じゃ、あとで私の部屋に来て」 ガートルード「うん、私、お菓子持って行くわ」 ジェシー「私もよ、ラヴィニア」 ラヴィニア「待ってるわ」
9	戸口のところ、アーメンガードとロッティが立っている		
10	ジェシー皮肉っぽく言う		ジェシー「なによ、あんたたちもラヴィニアの新しい部屋見たいって訳？」
11	慌てて首を振るアーメンガード		
12	ガートルード小憎たらしく言う		ガートルード「招待されてるのは私たちだけよ」

	あいずうちするジェシー 顔を見合わせて笑うジェシーと ガートルード　駆け去る二人 取り残されたアーメンガード、 ロッティ　手前に来て「ベー」 するロッティ　ロッティ、アー メンガードの袖を引く	ジェシー「うーん、そうよ…ねエ！」 ガートルード「うん、…！　さ行こう！」 ロッティ「イーーッ！」 ロッティ「ね、アーメンガード……」
13	アーメンガード、ロッティを見 る　ロッティ、真面目に聞いて ちょっと困るアーメンガード	ロッティ「セーラ・ママがいたお部屋、ラヴィ ニアがとっちゃったの？」 アーメンガード「とったんじゃないけど……ラ ヴィニアは特別寄宿生になって、あの 部屋に移ったのよ」
14	ロッティ、泣き顔になり 泣き出し、ぱっと走り出す	ロッティ「わあ、やっぱりセーラ・ママのお部 屋とったんだ。私、ラヴィニアの部屋 なんて見たくないもん」
15	泣きながら奥へ走るロッティ 後を追おうとするが止まる	アーメンガード「ロッティ!!」
16	悲しげな顔のアーメンガード うつむいていく	

17	三階に登って来るジェシー、ガートルード　お菓子の包みを持っている　←PANづけで 特別室の前まで来る　ハッとなり立ち止まる		ラヴィニアの声「なによ、このお掃除のしかた…部屋中メチャメチャじゃないの」
18	二人、しばらく立っていて 顔を見合わせる 「ハッ」として見る二人		ベッキーの声「そ、そんな…。私、一生ケンメイお片付けしたんです…」 S・E（ドアの開く音）（ガチャ！）
19	掃除道具を手にしたベッキーが ラヴィニアに追い出されてくる		ラヴィニア「うん！」 ベッキー「あ〜〜ッ！」
20	廊下に追い出されるベッキー ラヴィニアも出て来る ベッキー、頼み込むように ラヴィニア威圧的に		ベッキー「あの、私、もう一度お掃除し直しますから」 ラヴィニア「あんたじゃダメ、も少しましなメイドがいるはずでしょ」
21	びっくりするベッキー		ベッキー「えっ……」

22	ラヴィニア、チラッとジェシーたちを見る		ラヴィニア「ほら、お友達が来ちゃってるじゃない。早く呼んで来なさいよ」
23	ベッキー、ジェシーとガートルードを見る　しかたなく頭を下げて　去る		
24	にやりとするラヴィニア		ラヴィニア「フフフフ……!!　ン」
25	ジェシー、ガートルード 顔を見合わせる		
26	地下洗濯場　洗濯しているセーラ　ベッキー力なく入って、チラとセーラを見て柱に寄りかかる		
27	手を止めベッキーを見るセーラ チラリとセーラを見たが、顔をそらす　「?」となってエプロンで手を拭きながら手前にくるセーラ 「えっ」となるセーラ		セーラ　「ベッキー…どうかしたの?!」 セーラ　「ベッキー?」 ベッキー「…ラヴィニアさんが……」

28	うつむいていくベッキー。目に涙が一杯たまっている		ベッキー「…私の…掃除が…気にいらないんです」
29	セーラ、ベッキーを見つめて 頷くベッキー びっくりするセーラ		セーラ　「まあ…またなのね」 ベッキー「もっとましなメイドがいるはずだから……呼んでこいって」 セーラ　「えっ…?」
30	苦し気にセーラを見て		ベッキー「お嬢様のことを云ってるんです」
31	少し明るい顔になって		セーラ　「……判ったわ」
32	顔を上げるベッキー		ベッキー「え……」
33	セーラ、はっきりとベッキーに言う セーラ、ベッキーから掃除道具をとる		セーラ　「私がお掃除に行くわ」 ベッキー「いけませんお嬢様。あの人たちは、みんなしてお嬢様を笑い者にしようとしているんです」 セーラ　「大丈夫よベッキー…… ～
34	明るい顔のセーラ		メイドとして働くのは、私の仕事です

			もの。じゃ、お洗濯をお願いね」
35	出てくるセーラ手前に 振り返り見送るベッキー		
36	出て行くセーラ　曲るとき振り 返り、にっこりするセーラ		
37	心配そうに立ち尽すベッキー		ベッキー「お嬢様」
38	階段を登るセーラ　FOLLOW↖		
39	三階への階段　上って行くセー ラ		
40	特別室　セーラ来る　ドアの前 に止まる		
41	セーラ、緊張した表情　ため息 をつく		セーラ　「フ――ッ」
42	中からラヴィニアたちの笑い声		

43	セーラ、大きく深呼吸をする バケツを置く		セーラ「スーーッ、ハーーッ」
	A・C		
44	セーラ、バケツを置いて、ノックの態勢をとる		
45	セーラの手、一度止まる…が意を決して扉をノックする ノブを持つ		S・E（コン、コン、コン） 中からラヴィニアの声「どうぞ」
46	ドア開けて　そっと入ってくるセーラ		
47	セーラ、息をのむ		セーラ「ハァー」
48	菓子を食べていた三人見ている ニヤニヤとして…		三人「フフフ……」
49	息をのんでラヴィニアを見つめていたが、部屋を見回すセーラ		
50	成金趣味で飾り立てられた家具		

	調度品		
51	ラヴィニアの机		
52	PAN・D		
53	得意気なラヴィニア、笑っている		ラヴィニア「フフフ」
54	ぼう然としているセーラ		
55	テーブルを囲んで菓子を食べているラヴィニアたち　ニヤリとしている。手前にセーラがいる		
56	セーラ、ラヴィニアに話しかける		セーラ　「ベッキーの代りにお掃除に…」
57	ラヴィニアたち、セーラをからかう どっと笑うラヴィニアたち ラヴィニア、セーラに、すまし		ラヴィニア「来ると思ってたわ」 ジェシー「さすが、元代表生徒」 ガートルード「今は、代表メイド」 三人　「フフフフ…」 ラヴィニア「さ、はじめてちょうだい」

	ていう		
58	セーラ、無言		
59	ラヴィニア、皮肉たっぷりと		ラヴィニア「どうしたのよ、ここはあなたが前にいた部屋よ、様子は判っているはずでしょ」
60	ジェシー、いやみを言って		ジェシー「フフ、ラヴィニアの荷物がこんなに沢山入ってるから、見違えたかも知れなくってよ」
61	笑う三人		三　人「ハハハ……」
62	唇をかみしめてこらえているセーラ		三　人(off)「フフフ、ハハハ…」
63	立つラヴィニア		ラヴィニア「さ、早く掃除しなさいよ」
64	セーラ、ラヴィニアを見つめて		セーラ「ホコリになるわ……」
65	ラヴィニア安楽イスに近づき、きどったポーズをとり		ラヴィニア「平気よ。私、あなたが私の部屋を掃除する所を見ていたいの」

	ふてぶてしく座る		
	A・C		
67	豪然とイスを前后にゆすりながら		ラヴィニア「さ…早くして」
68	笑うジェシーとガートルード		二　人「フフフフ」
69	セーラ、見ていたが　バケツを置いて		
70	辺りを掃除しはじめるセーラ		
71	高慢気に見るラヴィニア		
72	ジェシーとガートルードも見ている		
73	掃除をするセーラ		
74	顔を見合わせ、笑いながら、ジェシー菓子をポロポロこわしてこぼす。ガートルードは菓子を包んである紙をちぎる		

75	菓子をこなごなにして床に落とす		
76	ガートルード、包み紙をやぶいて、アメを口に放り込んでからヒラヒラと床に落とす		
77	床に落ちる紙片、掃除をしているセーラ悲しげに見る。ガートルードを見上げて、手前に来て紙片を掃きとるセーラ		
78	紙片をまきちらすガートルード		ガートルード「…ヒラヒラ…ヒラ……」
79	口惜しそうに見上げるセーラ 目の前に舞い落ちる紙片 掃き始めるセーラ		
80	掃くセーラの手		
81	ジェシー立ち上がり、スカートをバタバタはたく　落ちる屑		ジェシー(on)~(off)に「まァ、ここにもこんなゴミが落ちて ~

82	床に落ちる屑を見るセーラ	るわ」
83	ガートルード、セーラをからかうように	ガートルード「ラヴィニア、折角のお部屋がだいなしよ」
84	ラヴィニア、ふんぞりかえって	ラヴィニア「そこばかりじゃないのよメイドさん」
85	セーラ、手をとめて三人を見る	
86	ふんぞり返るラヴィニア高慢に	ラヴィニア「なによ、その顔……!!」
87	身体を起こすセーラ	セーラ「お掃除は、あなたたちがいない時にしておくわ」
88	ジェシー、ガートルード「ん!」となる	
89	セーラ、きっぱりと言う 立ち上がるラヴィニア	セーラ「……今お掃除をしてもムダですもの」
	A・C	
90	立ち上がるラヴィニア	ラヴィニア「…なんですって…!」

91	じっと見つめるセーラ		
92	セーラを見つめる三人 ラヴィニア「ムッ」となって		ラヴィニア「私たちに出ていけっていうのね…」
93	セーラ、無言で見返す		
94	ラヴィニア凝っと見つめていた が… 捨てゼリフを言って ジェシーたちを見て　歩き出す ラヴィニア		ラヴィニア「判ったわ。憶えてらっしゃい…… さ、行きましょ」
95	セーラの前を荒々しく部屋を出 て行くラヴィニアたち　続くジ ェシー、ガートルード		
96	見送るセーラ		
97	ガートルード、内をいやらしく 見てからドア閉まる　出ていく 三人		S・E　（バタン）
98	吐息をつくセーラ		セーラ　「フ——ッ」

99	床に落ちている菓子の屑を掃くセーラ	
100	掃除をするセーラ	
101	成金趣味の時計	
102	廊下　ドアが開き、掃除を終えたセーラが出てくる　アメリアが階段をかけ上がって来る	アメリア「あ、セーラさん。院長先生がお呼びですよ」
103	不吉な予感のセーラ	セーラ　「え、院長先生が……」
104	一階の階段　降りてくるアメリア、セーラ　院長室のドアが開く　止まる二人　ラヴィニア、ジェシー、ガートルードが出てくる	
105	ラヴィニア、セーラを見てニヤリとなるラヴィニア　手前へ急ぐ	

106	セーラ　手前を駆け上がるラヴィニア　続くジェシー、ガートルード　見送るセーラ		
107	ジェシーたち階上へ out　アメリア院長室へ入って行く　セーラも続く　掃除道具を壁に置き入って行く		
108	院長室　入ってきたアメリア、セーラ　ドア閉めるセーラ		
109	デスクのところにいるミンチンほんのちょっと、こっちを見て		ミンチン「ラヴィニアさんから聞きました。特別室の掃除をおこたったそうですね」
110	セーラ、ミンチンにきっぱり言う		セーラ「いいえ、お掃除はきちんと致しました。ごらんになっていただければお判りだと思います」
111	向こうを向いたまま、ガバッと立つミンチン　ふり向いて激昂している		ミンチン「セーラ！……お前は自分の掃除のあとを、この私に点検しろと云うんですか」

112	アメリア言葉をはさんで		アメリア「お、お姉さま……！」
113	ミンチン、アメリアを制止して		ミンチン「あなたは黙って……。セーラ、ラヴィニアさんはこの学校の大切な特別生徒です。そのラヴィニアさんに反抗するようなマネは今後一切許しませんからね」
114	セーラ、じっと見返している		
115	ミンチン、怒りの表情で		ミンチン「な、なんです。その眼は……アメリア、この子を連れ出しなさい。それからモリーとジェームスをお呼び！」
116	あわてて返事するアメリア セーラの方を見る		アメリア「は、はい。お姉様…」
117	セーラ、ちょっと目を落とす		
118	壁際に置かれた掃除道具　セーラの手がバケツを取る		
119	道具を取り上げて、アメリア		

	に叩頭して去るセーラ。見送るアメリア　outするセーラ		
120	心配げな顔付で見送っているアメリア　大きく溜息をする		アメリア「フ——ッ」
121	裏庭　竿に張られたロープに止まっている雀。風の揺れにまかせている　急に飛び立っていく雀　セーラがinして　洗濯物を運んで来て置く		
122	起き上がり、風になびく髪の毛を手で撫でつけ、空をあおぐセーラ		
123	さわやかな空を飛んでいく小鳥付けPAN→		
124	空を見上げていたが　足許の洗濯物を取るセーラ　やって来て桶を置くベッキー　ベッキー手前へ来る　ふり向くセーラ		ベッキー「ほんとに申し訳けございませんです お嬢様……」

125	ベッキー申し訳なさそうに		ベッキー「私の事で、お嬢様まで院長先生に…」
126	にっこりするセーラ 洗濯物をパンパンとのばす		セーラ　「いいのよ、ベッキー…さ、洗濯物を 干してしまわなければ…」
127			ベッキー「は、はい。お嬢様…」
128	洗濯物を干す二人　ベッキーも 干し始める		
129	外を見つめ、スカートを握りし めいらいらとしているミンチン		
130	ミンチンの方を見てる二人		ミンチン(off)「いいですね」
131	振り返り、一歩前へ出るミンチ ン		ミンチン「……あの子は生意気なところが目に つきはじめています。二人の甘やかし 過ぎでしょう！」
132	ペコペコするジェームス ジェームスを制するモーリー ミンチン大きくうなづき、振り		ジェームス「…はい…お言葉ですが…」 モーリー「判りました院長先生！　…これから は充分に」

	返り 二人、顔を見合わせ頷き合う		ミンチン「……ではもうよろしい！」
133	地下　台所　なべをかきまわす モーリーの手		
134	モーリーとジェームスの前にセーラがいる （ベッキー、奥で何か仕事している）		モーリー「いいかい、お前のおかげで、こっちまで院長先生にお目玉を喰っちまったんだからね…腹が立つったらありゃしない！」
135	じっとうつむいているセーラ		
136	仕事をしながらチラリチラリとセーラを見ていたが　おこった表情になり、セーラを睨みつけて セーラ、買物カゴを持って静かに歩いてく		ジェームス「さあ…さあ早く買い出しに行ってくるんだ！」 セーラ「ハ…ハイ！」
137	出て行くセーラ　トビラ閉まる		
138	イライラするジェームス		ジェームス「…フン…いくら怒ったってこたえ

No.	画面		台詞
	モーリー 頷くジェームス		ねえんだから…！」 モーリー「全く気持の悪い子だよ。素直だか、ひねくれてるんだか判りゃしない！」
139	ベッキー、イモの皮むきしながら、扉と二人の方を見ている あわてて皮をむくベッキー 二人仕事に散る		ジェームス「う――ん…」 モーリー「モタモタしてたら……ベッキー、あんたもようしゃしないからね！」
140	コベントガーデン方向への道 歩いて行くセーラ		
141	にぎわっているコベントガーデン市場　←ＰＡＮ		
142	空荷車を片附けているピーター 「ん」となり、セーラに気がつく		
143	セーラが悄然とやってくる		

144	ニッコリして走るピーター		ピーター「わあ、お嬢様！」
145	立ち止まるセーラ　顔を上げる		セーラ「ピーター…」
146	ピーターinしてセーラに近づく ビーター、セーラにたずねて セーラ、言いにくそうに		ピーター「どうしたんです……バカに顔色が悪いけど。なにかあったんですね」 セーラ「え、ええ、ちょっと……」
147	心配げに、のぞきこむようにするピーター 「はっ」となり、おどけるようにー		ピーター「聞きますよ……」 ピーター「おっと、その前に買物を片づけなくちゃね」
148	明るく頷き		セーラ「ええ、ありがとう。ピーター」
149	ウォーター・ルー橋の上 セーラとピーターがいる。船が手前にくる		
150	じっとテムズ川を見ている二人 頷くセーラ		ピーター「チクショウ。そんな事があったんですか」

151	キリキリとなってくるピーター 両手をらんかんに叩きつけて ピーター、セーラの方を見て		ピーター「おじょうさん……」
152	ピーター、むきなおって		ピーター「院長先生や、ラヴィニアさんに、そこまで嫌がらせをされて、なぜガマンしてなきゃならないんです！」
153	セーラ微かに首をふる ゆっくりT・U 抑えていた激情がこみ上げてくる 涙が溢れおちる		セーラ「私…ひとにけいべつされたり、いじわるされたりした時、いつもお父さまの事を想い出しているのよ…」 セーラ「今の…今の私には……それしか、耐える方法はないのよ……」
154	はっと息をのむピーター		ピーター「おじょうさん……」
155	セーラ、目から一杯の泪が溢れる		
156	橋の上の二人		

（Aパート　おわり）

157	ミンチン女学院　台所 テーブルの上に野菜類	
158	点検していたが「?!」となるジェームス　後ろのモーリー振り返る 書きつけを出すセーラ	ジェームス「なんでえ、肝心のじゃがいもが抜けてるじゃねえか」 セーラ「あの…ジャガイモは書いてありませんでしたけど。このかきつけには…」
159	「キッ」となって紙片をセーラからもぎとり、見る… モーリー来てのぞきこむ　モーリー、ジロリとジェームスを見る（紙片を見せないようにするジェームス。チラリとモーリーを見て　フンというように見る） ジェームス、怒りの口調で	ジェームス「…なにイ！」 ジェームス「……書いてなくたって、口でちゃんと云っただろ！」
160	セーラ…うつむいていく。後方のドアから、洗った台所用品を抱えたベッキーが来て三人を見つめているが	ジェームス(off)「…すぐに行って買ってくるんだ」 ベッキー「あの…セーラさんはお昼もまだ食べてないんです。買い出しは私が行きますから」
161	ジェームス、ベッキーをたしな	ジェームス「うるせえ、お前は引っこんでろ。」

	めるように　そしてセーラに 返事をするセーラ セーラ、買物カゴをとると、ド アの方へ向かうセーラ　見送る ベッキー		さあ、早く行ってくるんだ」 セーラ　「はい、ジェームスさん…」
162	ドアから出て行くセーラ 扉を閉める		
163	心配気なベッキー		
164	振り返り、持っていたものをテ ーブルの置くベッキー 目をテーブルの先端に向ける		ジェームス「フ――ッ、やっと行ったか？」
165	モーリー　仕事をしながら、ち らっとジェームスを見て ジェームス、モーリーをたしな めるように		モーリー「ちょっとあんた、ほんとはじゃがい もを云うの忘れたんだろ」 ジェームス「余計な事云うなって……料理の内 容を考えりゃ、必要なもの判りそうな もんだ」
166	皮肉な笑いを顔に浮かべて		モーリー「……とかなんとかいって…ズルイよ あんたも…」

167	ジェームス、ズルがしそうに		ジェームス「へへへ…お前さんのおかげだよ」
168	笑う二人 手前にベッキー。二人の様子を 見ている		二　人「フフフ……」
169	凝然と見守るベッキー		
170	モーリー、ひょいと窓の方を見 る		モーリー「あ…」
171	窓の外　降っている雨		モーリー(off)「降って来たよ」
172	ベッキーの方を見て…にらみつ けて		モーリー「ベッキー…イ、ボヤボヤしてないで 早く洗濯物を取り込むんだよ」
173	返事するベッキー		ベッキー「はい、ただいま…」
174	ロンドンの屋根に降り始める雨 PAN←　雨水が屋根や煙突を 濡らしていく		
175	濡れる敷石　急ぎ足でいく足、足		

176	雨の中を行く人々　セーラもいる （紳士は傘をささないで行く）		
177	急ぎ歩くセーラ。立ち止まり、額のあたりのしずくをぬぐうセーラ。困った表情		
178	歩くセーラの足（急ぎ足） FOLLOW←		
179	降りしきる雨　↓P・D　コベントガーデン市場の一角　荷物を一杯に積んだ荷車を引いた男が足早に行き過ぎる　セーラ、アーチの下に姿を現わす		
180	茫然と見まわすセーラ		
181	店々は閉店して人影はない C-PAN→		
182	途方にくれるセーラ　仕方なく一方へ走り出す		

183	雨の中を走るセーラ	
184	アーケードの中を走るセーラ 雨に濡れるテントからしたたりおちるしずく	
185	やって来をセーラ 見廻して一寸ゆるむ口許　ぱっと走り出すセーラ	
186	車に男が空箱を積んでいる　セーラ男に近づく 男、振り向く	セーラ　「あの……」
187	セーラ、男にたずねて	セーラ　「ピーターはどこにいるんでしょうか」
188	男、答える 聞き返すセーラ 男、雨の空を見上げて	男　「ああ、ピーターなら、とっくに帰っちまったよ」 セーラ　「帰った？」 男　「ああ、この雨じゃ仕事にならんからな。何か用かい」
189	セーラ、男にたずねてみる	セーラ　「いえ、あの…それではどこかじゃがいも

		を売っているお店はないでしょうか」
190	男、足許の箱を積みはじめる	男　「ムリだな。こんな時間に来たって…どこも、もう店を閉めちまってるぜ」
191	力なく、うなだれるセーラ	
192	男、仕事を続けながら話す セーラ、聞き返す 男、ちょっとびっくりしてセーラを見つめて	男　「ま、セントジェームス市場へ行きゃ開けてる店があるかも知れんけどな」 セーラ　「セントジェームス市場？」 男　「なんだい、お前さんセントジェームス市場を知らんのかい」
193	頼りなげに頷くセーラ	セーラ　「…はい…」
194	男、ニッコリしてセーラに説明する	男　「リーゼント・ストリートの南の外れだ。ここからはちょいとあるけどな」
195	礼を言い走り去るセーラ	セーラ　「ありがとうございます」
196	降る雨　街並み（アオリ） 空が光る（稲光り）	S・E　（ゴロゴロ）

〜〜

No.	内容		音
197	附近の道　降る雨 セーラの足が気をつけながら歩く		
198	びしょ濡れのセーラ　足をとられないように必死に走るセーラ 空がぴかりと光る		S・E（ゴロゴロ、ゴロ）
	A・C		
199	思わず頭をかかえるセーラ ピカピカと光る		
200	稲光りが走る		
201	恐る恐る見上げていたが、走り出すセーラ		
202	光る空　雨、降り続けている		S・E（ゴロ、ゴロ、ゴロ」
203	雨の中を走るセーラ。立ち止まり、見回して又走り、道路を渡る		
204	靴が道にはまる　脱げてしまう		

205	脱げたセーラ　靴を拾おうとして「ハッ」として前を見るセーラ		S・E（馬車の音）
206	前方から馬車が来る　奥で空が光る		
207	ハッとなるセーラ		
208	近づく馬車		
209	はまっている靴		
210	迫る馬車　逃げるセーラ		
211	フカン　馬車、走り去る　よけるセーラ		
212	御者の怒号　雲が光る		御　者　「どこ見てるんだ！」
213	わだちが水をはねる		
214	セーラに泥水をはねる		セーラ　「キャッ！」

215	靴を後輪が轢く		
216	ハッとなるセーラ		セーラ　「ハッ」
217	馬車、靴を轢いて、まき上げる 稲光りが、ピカッ！		
218	雨の中を靴が舞い落ちる。スロ ーぎみに　ーマルチー　ピント 上から↓下へ　フォーカス下段 へ　遠去かる馬車		
219	ころがっている靴　拾いあげる セーラ　左足裸足		
220	パックリと底革がはがれている 靴。茫然とするセーラ		
221	街　雨ふり続く。夕方である 雨の中を馬車が行く		
222	雨の中を走って店先に雨やどり するセーラ		

223	手にした破れ靴から、したたり 落ちる水滴。足許濡れている PAN-UP↑　困った表情で 外を見ているセーラ 振り返るセーラ		
224	覆いを下げているガラス扉 BG-ONLY		
225	セーラ向き直り　雨の中へ飛び 出していくセーラ		
226	裸足の足が走る　汚れている FOLLOW←		
227	小走りにいくセーラ FOLLOW↖		
228	馬車が行く　道をたずねている セーラ　叩頭して走るセーラ		
229	裸足の足がいく　FOLLOW←		

230	手にしたボロ靴が雨にうたれてゆれている　FOLLOW↖		
231	煙突に雨やどりしている小鳥たち　PAN-UP		
232	雨の中、キョロキョロと見廻しているセーラ　急に走り出す		
233A	時計、夕方を示している　したたり落ちるしずく　PAN-DOWN　密着マルチ　紳士に尋ねているセーラ		
233B	にっこりと叩頭して手前に走り出すセーラ　セーラを見送る紳士		
233C	振り返り、笑うセーラ　奥へ走る		
233D	左足は裸足で歩く　FOLLOW←		

234A	片手に野菜カゴ、片手に破れた靴を持って小走りのセーラ		
234B	市場、ガランとしている　地面にちらばる野菜や紙のくずセーラの足が入って来る（左足つま先立ちにする）		
235	眺めまわすセーラ　顔のしずくを拭きながら困った顔をしている		
236	だれもいないマーケットセーラ走って来て止まり眺め回す		
237	来るセーラ　眺め回すほっとする顔あって		セーラ　「フ――ッ」
238	（テントの中）　一角で店閉まいをしている野菜店の主人声にふり向く主人、すぐ顔を元に戻す		セーラの声「あの……」

239	ずぶぬれのセーラの足		セーラ(off)「ジャガイモを、ありますか」
240	主人、背中のまま		主人「うちには、めぐんでやるような品物はないよ！」
241	セーラ、みすぼらしい格好である。悲しそうな表情で下を見る PAN・D		
242	男、仕事をしている。ちらりとセーラを見る男		主人「……いつまでいるんだ。早くいきな」 セーラ「あの…お金はもっているんですが…」
243	主人、ジロリとセーラの風体を見直す		
244	主人、セーラを見つめて 手を差し出すセーラ		主人「フ——ム?! 本当だろうな」
245	A・C 掌の中のコイン		
246	主人、お金を見てから		主人「なんだ、ひでえなりしてるから、一文無しかと思った。じゃ、今、分けてやろう」

247	ホッとなるセーラ		セーラ「す、すみません……」
249	街をセーラがやって来る PAN←		
250	歩くセーラ、明るい顔　カゴにジャガイモ（見えない） FOLLOW↗		
251	水を勢いよくはねながら行くセーラの足FOLLOW→		
252	犬を連れた人が来る　セーラにほえる犬　セーラちょっとよける		
253	にっこりして振り返るセーラ		
255	セントジェームス宮　裏手 BG-ONLY　衛兵		
256	早足でやってくるセーラ。ふと足をとめる		

257	宮の門のところ　近衛兵が立っている		
258	セーラ、衛兵を見つめて歩き出す		セーラ　「あの衛兵さんも、じっとガマンしてるんだわ」
259	立っている衛兵の前を通りかかるセーラ		
260	裸足の足が割石にひっかかる		
261	セーラつまづき		セーラ　「あっ！」
262	つんのめるセーラ　そのまま転ぶ		
263	転り散るジャガイモ		
264	転るセーラ　顔をしかめるセーラ　左足をかばうように起き上がり、手で足をつかむ		セーラ　「イ——たぁ」
265	手で包みこまれた足　指をゆっ		

	くりと動かす		
266	顔をゆがめ、痛さをこらえるセーラ　顔を伝って雨が流れていく		セーラ「痛っ!」
267	雨にうたれている靴とジャガイモ		
268	雨にうたれて、うずくまるセーラ　くつ		
269	雨の中を立っている衛兵		
270	痛さをこらえているセーラ 両手で身体をささえて這うようにしていくセーラ　ジャガイモを拾いはじめる		セーラ「う――…!」
271	ずるずるとひきずられる足		
272	イモを拾ってカゴに入れているセーラ　足が痛いので時々休む		

273	274	275	276	277		280
苦痛に時々ゆがむ顔 拾っては入れているセーラ	靴と足　足、ずるずると動く	セーラ、ジャガイモを拾い、カゴの中に入れる	不動の衛兵　眼だけキロリとセーラの方を見る　また戻る	ー間ー拾うセーラ　「う！」となって足（左）を押える 又、弱々しく拾い出すセーラ	またチラッと見て　セーラの方に走る	衛兵、銃を片手に駆け寄り、空いた左手でジャガイモを拾い、カゴに入れる　ハッとして見るセーラ　衛兵、次々といれる
セーラ　「ウ――ッ！」				セーラ　「う！」		

281	セーラ、衛兵を見つめる		
282	衛兵、次々にジャガイモを拾ってはカゴに入れる		
283	最後のジャガイモを取って		
284	全部入れ終る　衛兵ハッとしてＰＡＮづけ←持ち場に飛び返ると　直立する　セーラ立って見る　←ＰＡＮすると　宮内から上官らしい騎馬の近衛兵が出てくる		
285	セーラ見ている　痛い足を我慢して立ち上がる		
	A・C		
286	衛兵、銃を戻すと		
287	チラッと心配そうにセーラの方を見る		
288	礼をのべるセーラ		セーラ　「あ、ありがとうございました」

289	衛兵、眼が笑うと　正面を向き動かなくなる		
290	微笑むセーラ		セーラ　「ハア」
291	裸足と靴をはいた足		
292	衛兵とセーラ		
293	台所　テーブルの上に転がるジャガイモ　ジャガイモ、芽が出ている		ジェームス off「なんだ、こりゃ……!!」
294	「えっ」となるセーラ　濡れた髪がべったりとひたいについている		
295	ジェームス、セーラにジャガイモを見せながら、すごいけんまくで怒鳴る　モーリー入って来て。ジェームス、モーリーにイモを見せる。モーリー、イモを見てからセーラの方を見て怒鳴		ジェームス「オイオイこんな芽の出たジャガイモが食えるかってんだよ、ええ!」 モーリー「……う…!　こんなもの押しつけら

	る	れてきたのかい！」
296	申し訳なさそうにうつむいていくセーラ	セーラ　「ごめんなさいジェームスさん……」
297	怒るジェームスの前に身を縮めているセーラ ベッキー、ジェームス、モーリーの前に進んで、おそるおそる申し出る　ジェームス、ベッキーを相手にしない セーラ、カゴを取って	ジェームス「このまぬけめ！　早く行って取りかえてこい！」 ベッキー「あの……私が行ってきます」 ジェームス「うるせえ、お前にゃ夕食の仕度があるんだ！」 セーラ　「私、行って来ます」 モーリー「お待ち！…」
298	セーラをニラム、モーリー ジェームス、手の中のイモをモーリーに見せながら モーリー意地悪く言う	モーリー「今頃ノコノコ行ったたって、店が開いている筈がないじゃないか！」 ジェームス「そんな事云うけど、どうする気だよ。この芽の出たジャガイモ……」 モーリー「仕様がないだろ……‼　これがなくなるまで、お前たち二人に食べさせるからね」
299	驚くベッキーとセーラ。ゆっく	

	300	301	302	303	304	305
りとうつむいていく	階段を上ってくるセーラとベッキー　重い足どり セーラ、足を引きずっている	セーラ、ボロ靴を持って歩いている　←FOLLOW	一歩遅れてベッキーが、いたわる様に続く	特別室の前を通る二人 二人アウトすると、ドアがそっと開く　ラヴィニアが顔を出す （寝室着姿）	寝ていたシーザー、おき上る 扉をあけ、入っていく二人 シーザー、うずくまる	見ていたラヴィニア、ニヤリとなる
二人「エッ！」					シーザー「ウニャーオ、ニャーン」	S・E off（ガチャ） ラヴィニア「フフッ！」

306	セーラの部屋　ベッドのところに近づくセーラの足　ボロ靴を置いてベッドに腰をおろす		
307	セーラ、ネズミの穴を、ふと見る		
308	壁穴から出てくる親ネズミのメル　前足を上げてセーラを見る		
309	メルをしばらく見つめて、ニッコリして		セーラ　「ごめんなさい…今夜はあなたたちに何も持ってこられなかったの……がまんしてね」
310	首を傾けるメル　穴にもどる		
311	セーラ淋しげな表情　ふと眼をゆっくり転ずると		
312	父母の写真額とエミリー		
313	立ち上がるセーラ　セーラ机の方へ行って（足がいたいのです）		

	ヒザをつく（机に手をつき、くずれるように）		
314	凝っと見つめているセーラ		セーラⓃ「お父さま……私、まだくじけてはいないわ……」
315	写真のＵＰ		
316	崩れかかる体を懸命にこらえ、支えているセーラ		セーラⓃ「……どんな事があっても、ガマンしていくつもりよ……」
317	眼に泪が溢れて、きらりと光る一条の涙が流れ落ちる Ｆ・Ｏ		

（お　わ　り）